

# 業績集

平成 19 年 (2007)

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科

歯顎口腔機能再建外科学

(岡山大学歯学部 口腔外科学第一講座)

主任教授 菅原 利夫

## 平成19年（2007年）—投稿論文—

### 原著論文

#### 英文誌

- 1) M. Sawaki, T. Ueno, T. Kagawa, M. Kanou, Y. Sakata, K. Honda, N. Shirasu, T. Kuboki and T. Sugahara: Clinical investigation of dental implant reconstruction for grafted alveolar cleft patients. *Acta Medica Okayama* 2007 (in press)
- 2) X. Wang, D. M. Truckses, S. Takada, T. Matsumura, N. Tanese, and R. H. Jacobson: Conserved region I of human coactivator TAF4 binds to a short hydrophobic motif present in transcriptional regulators. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America* 104(19): 7839-7844, 2007.
- 3) T. Ueno, K. Honda, A. Hirata, T. Kagawa, M. Kanou, N. Shirasu, M. Sawaki, E. Yamachika, N. Mizukawa and T. Sugahara: Histological comparison of bone induced from autogenously grafted periosteum with bone induced from autogenously grafted bone marrow in the rat calvarial defect model. *Acta Histochem.* 2007 Dec 12 [Epub ahead of print]
- 4) T. Ueno, Y. Sakata, A. Hirata, T. Kagawa, M. Kanou, N. Shirasu, M. Sawaki, J. Fukunaga, N. Mizukawa and T. Sugahara: The evaluation of bone formation of the whole tissue periosteum transplantation in combination with beta-tricalcium phosphate (TCP). *Annals of Plastic Surgery* 59: 707-712, 2007.
- 5) T. Ueno, T. Kagawa, M. Kanou, N. Shirasu, M. Sawaki, H. Imura, A. Hirata, E. Yamachika, N. Mizukawa and T. Sugahara: Evaluation of osteogenic potential of cultured periosteum derived cells-preliminary animal study-. *Journal of Hard Tissue Biology* 16: 50-53, 2007.
- 6) T. Yamada, K. Fujiwara, K. Mishima, H. Imura and T. Sugahara: Effects of 2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-p-dioxin (TCDD) on the development of the murine palate in organ culture. *Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*: 19(4) 2007 (in press)

マウス胎仔口蓋組織を用いた器官培養系において、TCDDの投与が口蓋板癒合に及ぼす影響を観察した。その結果、TCDDにより口蓋の癒合率は低下するが、濃度が高くても50%程度は癒合することがわかった。また免疫染色によりTGF- $\beta$ 3の発現抑制が認められた。TCDDの影響は直接作用のみならず間接作用も関与しているこ

とが示唆された。

#### 和文誌

- 1) 水川展吉, 佐々木朗, 大杉篤生, 目瀬浩, 志茂剛, 金田祥弘, 西山明慶, 吉濱泰斗, 鳩本清美, 沢木聖子, 山近英樹, 植野高章, 高木慎, 菅原利夫: 岡山県における口腔がん検診(第2報). *岡山歯学会雑誌* 26(1): 21-24, 2007.

### 症例報告

#### 和文誌

- 1) 森谷徳文, 三島克章, 山田朋弘, 中野誠, 近藤誠二, 菅原利夫: 上唇に発生した類表皮嚢胞の1例. *口腔外科学会雑誌* 53(6): 353-357, 2007.
- 2) 山田朋弘, 三島克章, 杉井明日香, 井村英人, 本多浩三, 松村達志, 菅原利夫: 上顎第一大臼歯の根尖病巣付近から発生した上顎骨中心性癌の1例. *岡山歯学会雑誌* 26(1): 25-28, 2007.

上顎骨臼歯部中心性癌の1症例を経験した。初診時は抜歯窩治癒不全の診断であったが、切除生検により扁平上皮癌と診断した。局所切除のみで良好な結果を得ている。

### 平成19年(2007年)一著書一

- 1) 菅原利夫: DCLS コースガイドブック デンタルクライシスの初期対応. 分担 代表的なシナリオ. へるす出版 104-125, 2007.
- 2) 菅原利夫: 50<sup>th</sup> Anniversary Today's therapy 2008 今日の治療指針 私はこう治療している. 26. 歯科・口腔外科疾患 構音障害. 医学書院 1130, 2008.

### 平成19年(2007年)一学会発表一

#### 国外

- 1) H. Imura, T. Yamada, T. Ueno, T. Matsumura, S. Kondo, A. Hirata, K. Fujiwara, A. Sugii and T. Sugahara: Experimental research about systemic of induction of cleft plate exposed TCDD immunohistological examination. American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 89th Annual Meeting (Honolulu, October 8 - 13, 2007, Poster Session)
- 2) E. Yamachika, M. Sawaki, N. Shirasu, M. Matsubara, M. Nakano, N. Mizukawa, T. Ueno, T. Sugahara: Treatment for osteosarcoma of the mandible with chemotherapy: A case report. American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 89th Annual Meeting

(Honolulu, October 8 - 13, 2007, Poster Session)

- 3) M. Wakimoto, T. Ueno, T. Kagawa, M. Kanou, K. Honda, Y. Sakata, M. Sawaki, E. Yamachika, N. Mizukawa and T. Sugahara: Clinical investigation of dental implant reconstruction for grafted alveolar cleft patients. Nobel Biocare World Conference 2007. (Las Vegas, May 20-24<sup>th</sup> 2007, Poster Session) YOUNG CLINICIAN AWRADS
- 4) N. Shirasu, T. Ueno, Y. Sakata, A. Hirata, T. Kagawa, M. Kanou, M. Sawaki, E. Yamachika and T. Sugahara: Evaluation of bone formation of the bone marrow transplantation in combination with beta-tricalcium phosphate. International Symposium Osteology Monaco (Monaco, May 10-12, 2007, Oral Presentation)
- 5) T. Yamada, K. Mishima, T. Matsumura, A. Sugii, H. Imura and T. Sugahara: Is MMF necessary after a rigid fixation SSRO? American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 89th Annual Meeting (Honolulu, October 8 - 13, 2007, Poster Session)
- 6) K. Mishima, T. Yamada, A. Sugii, H. Imura and T. Sugahara: Production of a range image from a facial motion image and its application for lip motion analysis. American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 89th Annual Meeting. (Honolulu, October 8-13, 2007, Poster Session)

## 国内

- 1) 太田晃子, 植野高章, 緒方憲一郎, 澤木聖子, 白数信明, 本多浩三, 脇本真理, 松村達志, 水川展吉, 菅原利夫: 当科における歯科インプラント前処置としての骨増量術を行った症例の病診連携の検討. 第 11 回 日本顎顔面インプラント学会学術大会 (新潟, 2007 年 12 月 1-2 日 2-B-3 p.179, 口演)
- 2) A. Ota, T. Ueno, K. Ogata, N. Shirasu, K. Honda, M. Kanou, M. Sawaki, L.Y. Ishimura, K. Sawaki, A. Hirata and T. Sugahara: A case of immediate functional loading implant treatment with autogenous bone augmentation for severely resorbed maxilla under clinic-hospital collaboration. Nobel Biocare Esthetic Forum 2007 in Osaka (大阪, 2007 年 10 月 7-8 日, 示説)
- 3) 山近英樹, 沢木聖子, 白数信明, 松原正和, 中野 誠, 水川展吉, 植野高章, 菅原利夫: 化学療法を併用した化学骨肉腫の一例. 第 5 2 回日本口腔外科学会総会 (名古屋, 2007

年 9 月 29-30 日, P-62, 示説)

- 4) 平田あずみ, 植野高章, 山近英樹, 山田朋弘, 香川智正, 井村英人, 菅原利夫: パールカンの動態とヘパラーゼ局在から検討した口蓋突起癒合のメカニズム. 第 5 2 回日本口腔外科学会総会 (名古屋, 2007 年 9 月 29-30 日, P-135, 示説) ゴールドリボン賞
- 5) 山田朋弘, 三島克章, 松村達志, 杉井明日香, 井村英人, 菅原利夫: 下顎枝矢状分割術術後における顎間固定の必要性の検討. 第 5 2 回日本口腔外科学会総会 (名古屋, 2007 年 9 月 29-30 日, P-149 示説)
- 6) 井村英人, 山田明弘, 三島克章, 植野高章, 松村達志, 近藤誠二, 平田あずみ, 藤原久美子, 杉井明日香, 菅原利夫: TCDD による口蓋裂誘発機序に関する実験的研究-免疫組織学的検討-. 第 5 2 回日本口腔外科学会総会 (名古屋, 2007 年 9 月 29-30 日, P-134 示説)
- 7) 白数信明, 植野高章, 平田あずみ, 香川智正, 澤木聖子, 加納みわ, 坂田吉郎, 山近英樹, 菅原利夫: ラット頭蓋骨骨欠損部における骨髄と  $\beta$ -TCP 複合移植による骨形成過程の組織学的検討. 第 49 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会 (札幌, 2007 年 8 月 29 - 31 日, 口演)
- 8) 平田あずみ, 菅原利夫, 中村浩彰: セメント芽細胞分化過程における Runx2, Osterix 局在と骨基質タンパク質. 第 49 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会 (札幌, 2007 年 8 月 29 - 31 日, 口演)
- 9) 水川展吉, 山中玲子, 山本龍生, 松崎秀信, 浅海淳一, 山近英樹, 植野高章, 高木 慎, 菅原利夫: 放射線治療後の口腔乾燥に対し塩酸ピロカルピン (サラジェン®) を投与しフッ素塗布を用いた口腔ケアを行なった 2 症例. 第 28 回岡山歯学会 (岡山, 2007 年 8 月 18-19 日, 2-10, 口演)
- 10) 本多浩三, 植野高章, 脇本真理, 加納みわ, 沢木聖子, 太田晃子, 白数信明, 菅原利夫:  $\beta$ -TCP (Tricalcium phosphate) を用いた顎骨増量術のインプラント治療への臨床的検討. 第 28 回岡山歯学会 (岡山, 2007 年 8 月 18, 19 日, 2-5 口演)
- 11) 植野高章, 脇本真理, 白数信明, 本多浩三, 水川展吉, 窪木拓男, 菅原利夫: 高度萎縮上顎骨に腸骨移植を行ないコンピュータガイドシステム (ノーベルガイド) により即時荷重を行なったインプラント治療の 1 症例. 第 28 回岡山歯学会 (岡山

2007年8月19日, 2-6, 口演)

- 12) 井村英人, 三島克章, 山田朋弘, 杉井明日香, 菅原利夫: Fallot 四徴症を伴う口唇口蓋裂患児の周術期管理の一例. 第36回(社)日本口腔外科学会中・四国地方会(広島, 2007年5月26日, 口演)
- 13) 杉井明日香, 三島克章, 山田朋弘, 井村英人, 菅原利夫: 口蓋裂言語評価へのカオス解析の応用—第一報 リアプノフ指数の再現性およびナゾランス値との関連性について. 第31回日本口蓋裂学会総会(群馬, 2007年5月24-25日, 示説)
- 14) 中野 誠, 菅原利夫, 山近英樹, 山田朋弘, 植野高章: 顎固定用緊急解除時の安全性に関する研究 第2報. 第61回日本口腔科学会総会(神戸, 2007年4月19, 20日, 2-BM-4, 示説)
- 15) 澤木聖子, 植野高章, 平田あずみ, 坂田吉郎, 白数信明, 本多浩三, 脇本真理, 菅原利夫:  $\beta$ -TCP を用いた増量顎骨の組織学的, 免疫組織学的検討. 第61回 NPO 法人 日本口腔科学会学術集会(神戸, 2007年4月19-20日, 示説)
- 16) Ishimura Larissa Yuri, 植野高章, 平田あずみ, 坂田吉郎, 加納みわ, 白数信明, 澤木聖子, 菅原利夫: 骨欠損部での骨形成へのエナメルマトリックス由来蛋白の影響. 第61回 NPO 法人 日本口腔科学会学術集会(神戸, 2007年4月19-20日 示説)
- 17) 水川展吉, 目瀬 浩, 志茂 剛, 佐々木朗, 大杉篤生, 西山明慶, 金田祥弘, 植野高章, 吉濱泰斗, 高木 慎, 菅原利夫: 岡山県下の前癌病変を含む口腔がん検診. 第31回日本頭頸部癌学会(横浜, 2007年6月13-15日, P-043, 示説)
- 18) M.Frederic, Y. Kaneda, N. Mizukawa and T. Sugahara: Expression of human beta-defensin-1, -2, and -3 in mucocele. 第36回日本口腔外科学会中・四国地方会(広島, 2007年5月26日, 19, 口演)
- 19) 三島克章, 山田朋弘, 杉井明日香, 井村英人, 菅原利夫: 顔面動画像からの距離画像の作成と口唇運動解析への応用. 第52回日本口腔外科学会総会(名古屋, 2007年9月29-30日, P-132, 示説) ゴールドリボン賞
- 20) 水川展吉: 口腔外科よもやま話. 岡山医療生協講演会(倉敷, 2007年3月11日, 口演)

21) 水川展吉：MD Anderson ガンセンターをモデルとした頭頸部がん治療における歯科医の役割. 第5回岡山頭頸部癌治療カンファレンス（岡山，2007年5月30日，口演）

22) 水川展吉：頭頸部がん治療における口腔ケア. 第1回頭頸部ケアカンファレンス（岡山，2007年8月1日，口演）

## 特別講演

## 招待講演

1) T. Ueno and T. Sugahara: Bone regeneration of alveolar ridge augmentation for dental implant treatment--the clinical and histological examination of the comprehensive technique of bone augmentation. American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 89th Annual Meeting (Honolulu, October 9, 2007, clinical invited lecture. Oral Presentation)

## 国内シンポジウム

1) 菅原利夫：「開咬の治療」開咬の外科的矯正治療. 第50回中・四国矯正歯科学会大会（岡山，2007年7月15日，学術シンポジウム，口演）

## 平成19年（2007年）—学位授与—

1) 井村英人：ダイオキシンによるマウス口蓋裂の発生機序に関する形態学的及び免疫組織学的研究-口蓋突起癒合後の口蓋発生について-

2) 佐藤晃子：骨粗鬆症モデルマウスにおける1,4-dihydroxy-naphthoic acid (DHNA)の骨吸収抑制効果についての研究

3) 杉井明日香：カオス理論を用いた健常者および口蓋裂患者の発話音声分析の試みについて

## 平成19年（2007年）

## —文部科学省科学研究費補助金—

菅原利夫，植野高章，山田朋弘，三島克章，松村達志，平田あずみ：基盤研究(B) “骨吸収の分子遺伝子解析とプロピオン酸菌発酵物質を用いた骨吸収抑制法の創出” 課題番

号 19390516

植野高章, 平田あずみ: 基盤研究(C) “多分化骨髄細胞移植法によるヒト顎骨再生の効率化および組織生物学的評価法の確立” 課題番号 19592297

水川展吉, 高木慎, 山近英樹, 山合友一郎: 基盤研究(C) “破骨細胞分化メカニズムに関与する免疫機能の分子生物学的解析” 課題番号 19592294

山近英樹, 辻極 秀次: 基盤研究(C) “骨髄幹細胞の固定化サイトカインによる誘導および骨再生” 課題番号 19592296

### ーその他 補助金ー

水川展吉, 木股敬裕, 富永進: 岡山大学学長裁量経費 “岡山大学病院医科歯科連携, 地域連携の口腔がん治療”

水川展吉: 岡山県健康づくり財団 “岡山県における口腔がん検診”

### 平成19年(2007年)

#### ー医局セミナーー

1) 第19回口腔外科(再建系)医局セミナー(口腔インプラント専門外来主催セミナー)

Branemark Implant System 外科手術学の講義&ハンズオン

平成19年6月27日

2) 第20回口腔外科(再建系)医局セミナー(口腔インプラント専門外来主催セミナー)

Branemark Implant System 外科手術学の講義&ハンズオン

平成19年7月23日